

事務事業評価シート(平成26年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
31525	農業集落排水施設運転管理・維持事業	建設水道課	農集・浄化槽係	小野 耕一	宮原 隆史
		一次評価年月日	平成 27 年 6 月 9 日	連絡先〔内線〕	2167
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別	5710	農業集落排水総務事務
		<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別		#N/A
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり
		節	(コード選択)	1節	地域基盤整備
		項〔基本施策〕	(コード選択)	5項	下水道事業の推進
目〔主な施策〕		(コード選択)	2目	安定した下水処理の推進	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input checked="" type="checkbox"/> その他	辰野町農業集落排水施設最
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

農業集落排水処理施設及び利用者

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

集落内の河川等の水質を保全し、清らかな水を守り快適な農村活動を支える。そのために施設の適切な維持管理を行う

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 処理場の運転管理・保守点検の実施
- 処理水の水質検査の実施
- 修繕工事の実施
- 公共下水道への統合のための準備

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		25年度	26年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	処理施設の日常点検回数	回	228	228	228	1.00	228
説明	維持管理者の設備保守点検回数(施設数×回数)	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	契約日数				
② 指標名	水質検査日数	回	420	420	420	1.00	420
説明	水処理場放流水の法定項目水質検査(項目数×回数)	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	契約回数				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		25年度	26年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	放流水BOD(生物化学的酸素要求量)の20mg/l以下の割合	%	98	98	100	0.98	100
説明	計画放流水質(20mg/l)を目標とする	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	BOD20mg/l以下の検査回数÷BOD全検査回数×100				
② 指標名							0
説明		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度見込み
			22,769	24,927	28,257	30,760
対前年比		%		109.5	113.4	108.9
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	22,769	24,927	28,257	30,757
B)一般財源(税金)		(千円)	0	0	0	3
①事業費		(千円)	20,201	22,355	25,687	28,166
対前年比		%		110.7	114.9	109.7
②人件費の概算		(千円)	2,568	2,572	2,570	2,594
対前年比		%		100.1	99.9	100.9
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費
	H25 H26 H27	H25 H26 H27	H25 H26 H27	H25 H26 H27	H25 H26 H27	年間人件費
町職員(正規職員)	0.02 0.02 0.02	0.00 0.00 0.00	0.30 0.30 0.30	0.00 0.00 0.00	0.32 0.32 0.32	2,568 2,572 2,570
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)					0 0 0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 浄化槽維持管理組合役員との連携による
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	B	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 公共・特環下水道事業、浄化槽事業
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください 施設の運転管理・汚泥処分の委託費は維持管理費で賄えているが、施設が老朽化することによって修繕が必要になってくるため、使用料改定・補助事業の活用や地区によっては公共下水道への統合に向けた準備が必要。また、一部の組合で使用料の滞納があるが、地元役員の働きかけによりピーク時より改善している。
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 使用料徴収事務、施設の清掃などを地元組合が実施している。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	27年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
最速整備構想に基づき下横川地区について国庫補助事業により調査計画業務を実施した。成果品を今後の方向性や対策の判断材料にしたい。維持管理委託業者からの報告により劣化したポンプを予め購入しておき、点検日にあわせて更新工事を行ったり、引き続き汚泥処分を民間業者に委託し経費の軽減を図る。公共下水道への統合が計画されている地区もあり、資産調査・管路点検など計画的な準備を行う。	[反映内容] 委託料・原材料費・需用費

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
快適な生活環境維持のために必要な事業であり、継続実施する。再度全体施設について、公共下水道への統合について詳細検討する。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択